

2011年度事業報告書

1. 組織運営

(1) 理事会

理事会を下記の日程で開催し、運営方針について検討した。

2011年4月3日(日)、5月16日(月)、6月8日(水)、7月19日(火)、8月19日(金)、10月3日(月)、11月1日(火)、12月5日(月)、2012年1月16日(月)、2月15日(水)、3月21日(水)

(2) 総会

MIC かながわ第10回定期総会 6月11日(土) 13:30~15:00 港湾労働者福祉センター
参加者数：正会員 59人のうち 出席 28人・委任状 5人・書面表決 11人

総会に引き続き行われた交流会では、医療通訳スタッフやコーディネーターを含む MIC 会員をはじめ、通訳派遣協定医療機関のソーシャルワーカーの参加も得て、顔の見える関係づくりに一役を担う有意義な時間を過ごした。

東日本大震災支援のための募金箱を設置し、参加者からの募金と当日販売した MIC かながわオリジナルマグカップの売上金の一部を合わせ、東北広域 NGO センターとなっている IVY 国際ボランティアセンター山形へ送った。

2. 事業の成果

2011年度は、2009年度4月より開始した県・市町村が参加しての「医療通訳派遣システム事業」の3年目となり、派遣実績は3112件であった。(前年度2879件)

2011年度より「医療通訳派遣システム事業」における協定医療機関が17病院から32病院に増加したため、当初は3600件の派遣が見込まれていた。しかし、2011年3月11日に起きた東日本大震災、とりわけ原子力発電所の事故の影響で多くの外国籍住民が一時帰国したことから、4月~7月の派遣実績は予想を下回った。特に英語の派遣依頼は大幅に下回った。

MIC かながわ医療通訳派遣事業に関しては、2011年4月より12病院が「医療通訳派遣システム事業」へ移行したため、派遣実績は大幅に減少し、564件であった。(前年度1155件)

独自の事業として、「医療通訳派遣システム事業」や「一般通訳派遣事業」の枠内では通訳を派遣できない派遣先に対して、依頼者(信頼できる団体・個人)と契約を交わし、通訳の派遣を行った。

3. 事業内容

(1) 特定非営利活動に関わる事業

- ① 医療通訳の養成および認定に関わる事業

【日時】2011年4月1日～2012年3月31日 【場所】神奈川県内 【従業員人員】 人
【対象者】 現任医療通訳スタッフ・コーディネーターおよび新任医療通訳研修参加者
【①事業合計支出額】 2,339,602円

ア. 医療通訳スタッフの募集

『県のたより』に掲載し、9言語（中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・英語・タイ語・ベトナム語・カンボジア語・ラオス語）の募集を行った。計99人の応募に対して事前選考後に研修を行い、最終的に16人（中国語4、スペイン語3、ポルトガル語3、タガログ語1、タイ語2、英語2、ベトナム語1）が選考を通過した。

イ. 医療通訳スタッフの登録

2010年度から引き続いて167人、2011年度の新規16人、計183人（うち2人は2言語登録者）が登録した。

ウ. 医療通訳スタッフ新任者養成研修

応募者多数のスペイン語・英語・中国語に関しては8月下旬に事前選考を行った。

【第1回】9月10日（土） 大和市生涯学習センター

- i 医療通訳派遣システム概要
説明：神奈川県国際課 今井いずみ氏
- ii MIC かながわについて
説明：MIC かながわプログラムアドバイザー 高橋元央氏
- iii 医療通訳の心得
講師：MIC かながわ理事、港町診療所所長、医師 沢田貴志氏
- iv 在留資格について
講師：行政書士 長谷川祥子氏
- v 外国人医療の現状
講師：MIC かながわ副理事長、港町診療所事務長 早川寛氏
- vi 多文化共生について
講師：川崎市ふれあい館 金迅野氏
- vii 医療通訳の現場から
スペイン語医療通訳スタッフ 小林正義氏
中国語医療通訳スタッフ 李思薇氏
ポルトガル語医療通訳スタッフ 中原章子氏

【第2回】9月17日（土） 大和市生涯学習センター

- i 異文化コミュニケーションと対人援助スキル
講師：MIC かながわ理事長、聖テレジア病院ソーシャルワーカー 鶴田光子氏
- ii 医療制度・医療機関のしくみ
講師：国際親善総合病院ソーシャルワーカー 井出みはる氏
- iii 基礎的な通訳技術
講師：MIC かながわ英語医療通訳スタッフ 森田直美氏
- iv 医療基礎知識
講師：ソレイユ川崎医師 江川文誠氏

【第3回】10月1日(土) シミュレーション/言語別ロールプレイ

ベトナム語・タイ語については大和保健福祉事務所

その他の言語に関しては、大和市生涯学習センター

第3回・第4回のシミュレーション/言語別ロールプレイには、各言語の医療通訳スタッフあるいはコーディネーターの中から人選した講師・患者役・医師役を配した。

【第4回】10月15日(土) シミュレーション/言語別ロールプレイ/選考

ベトナム語・タイ語については大和保健福祉事務所

その他の言語に関しては、大和市生涯学習センター

【オリエンテーション】11月7日(月) かながわ県民センター ※最終選考通過者対象

i. システムの概要 ii. 派遣の手続き iii. 協定医療機関の概要

iii. コーディネーター業務の紹介 v. コーディネーターとの意見交換

エ. 医療通訳スタッフ・コーディネーター現任者研修

現任医療通訳スタッフとコーディネーターの資質向上のため、課題検討と専門的内容の講義等の研修を行った。

【第1回】7月16日(土) 13:30~17:00 横浜市従会館

i テーマ：リハビリテーションについて

講師：済生会神奈川県病院リハビリテーションセンター理学療法士 案西淳氏

ii テーマ：医療通訳スタッフのメンタルケア

講師：茨城大学大学院教授、高輪心理臨床研究所主宰 岸良範氏

〔参加者数〕94人

【第2回】11月26日(土) 13:30~17:00 ウィリング横浜

i テーマ：こどもの先天性疾患について

講師：県立こども医療センター総長 大浜用克氏

- ii テーマ：MIC かながわ 設立の経緯とこれまでの歩み
こうし 講師：MIC かながわプログラムアドバイザー たかはしもと おし 高橋元央氏
 iii 報告：問題となった派遣事例・注意について じむきょく 事務局より
 iv 小グループでの話し合い
 [参加者数] 112 人

【第3回】2月11日（土・祝）9：45～11：30 かながわ県民センター

- i. テーマ：医療通訳者に通じる、ホスピス緩和ケアからの学び
こうし 講師：めぐみ在宅クリニック医師 こだまともゆきし 児玉智之氏
 [参加者数] 101 人

オ. 勉強会

言語別グループによる自主勉強会を開催し、事例シェア等を通して医療通訳技術の向上を図った。
 全言語共通 病理学4回、中国語4回、スペイン語8回、ポルトガル語6回、英語6回、タイ語4回、ベトナム語3回、タガログ語3回

カ. コーディネーター研修

【第1回】8月22日（月）17：30～19：30 かながわ県民センター

テーマ：医療通訳コーディネートのあり方 ―平常時と非常時―
こうし 講師：横須賀国際交流協会事務局次長、たぶん かきょうせい 多文化共生マネージャー にいくらちぐさし 新倉千草氏
 [参加者数] 13 人（事務局2人含む）

【第2回】11月14日（月）17：00～19：00 MIC かながわ事務所

内容：事例や情報の共有
 [参加者数] 13 人（事務局2人含む）

② 医療通訳の派遣に関わる事業

【②事業合計支出額】 21,738,127 円

<内容1> 医療通訳派遣システム事業

[日時]2011年4月1日～2012年3月31日 [場所]神奈川県内 [従業員人員] 人
 [対象者] 医療通訳を必要とする協定医療機関 32病院およびそこを受診する患者とその家族等

ア. 医療通訳スタッフの派遣

協定医療機関（32病院）からの通訳派遣の依頼にもとづき、コーディネーターが医療通訳

はけん
スタッフを派遣した。

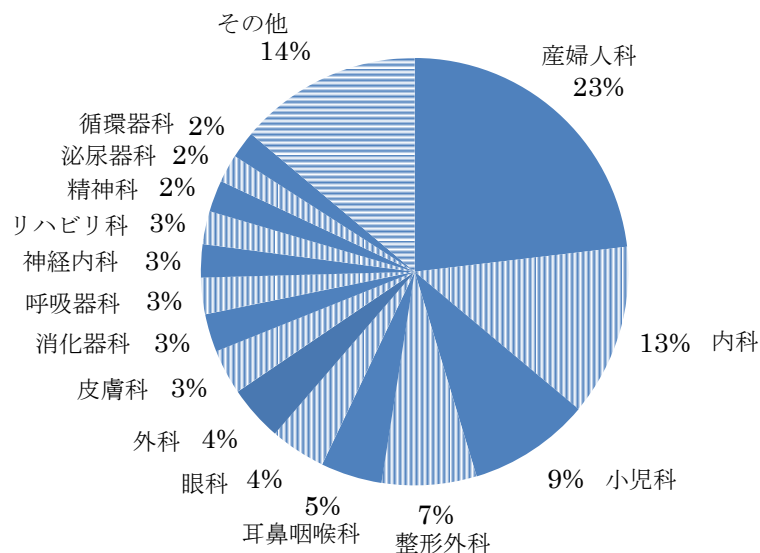
びょういん げんごべつじつせき
病院・言語別実績

たんい けん
【単位：件】

医療機関名	所在地	中国語	スペイン語	ポルトガル語	韓国・朝鮮語	タガログ語	タイ語	英語	ベトナム語	カンボジア語	ラオス語	合計
さいせいかいかながわけんびょういん 済生会神奈川県病院	横浜市 神奈川区	1	0	0	0	7	0	3	0	0	0	11
さいせいかいよこはましようぶびょういん 済生会横浜市東部病院	横浜市 鶴見区	63	102	84	5	2	0	46	8	0	0	310
しょうわだいがくよこはまほくぶびょういん 昭和大学横浜市北部病院	横浜市 都筑区	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
よこはましりつしみんびょういん 横浜市立市民病院	横浜市 保土ヶ谷区	35	18	3	0	0	16	84	17	0	2	175
せい 聖マリアンナ医科大学 よこはませいぶびょういん 横浜市西部病院	横浜市 旭区	17	7	0	0	0	0	0	0	0	0	24
しゃかいほけんよこはまちゅうおうびょういん 社会保険横浜中央病院	横浜市 中区	25	0	0	1	0	0	2	0	0	0	28
よこはましだい 横浜市大センター病院	横浜市 南区	293	23	47	0	11	26	62	14	0	17	493
けんりつしおみだいびょういん 県立汐見台病院	横浜市 磯子区	36	63	0	2	0	1	23	3	0	0	128
よこはましりつだいがくふぞくびょういん 横浜市立大学附属病院	横浜市 金沢区	35	76	4	3	0	9	1	1	0	2	131
せい 聖マリアンナ医科大学病院	川崎市 宮前区	11	22	13	0	9	0	16	2	0	0	73
かわさきしりつたまびょういん 川崎市立多摩病院	川崎市 多摩区	3	0	0	0	4	0	1	0	0	0	8
おおたそうごうびょういん 太田総合病院	川崎市 川崎区	33	52	16	0	0	0	20	27	0	0	148
かわさきしりつかわさきびょういん 川崎市立川崎病院	川崎市 川崎区	64	44	37	11	0	18	110	1	0	0	285
かわさききょうどうびょういん 川崎協同病院	川崎市 川崎区	0	4	0	1	1	0	0	0	0	0	6
かわさきしりついでびょういん 川崎市立井田病院	川崎市 中原区	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
きぬがさびょういん 衣笠病院	横須賀市	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
しょうなんかまくらそうごうびょういん 湘南鎌倉総合病院	鎌倉市	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	14
ちがさきとくしゅうかいそうごうびょういん 茅ヶ崎徳洲会総合病院	茅ヶ崎市	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
とうかいだいがくいぶくぶふぞくびょういん 東海大学医学部付属病院	伊勢原市	13	272	121	2	2	1	10	1	18	0	440
ひらつかしみんびょういん 平塚市民病院	平塚市	29	166	32	0	6	0	17	1	0	0	251
はだのせきじゅうびょういん 秦野赤十字病院	秦野市	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
えびなそうごうびょういん 海老名総合病院	海老名市	7	99	15	0	0	0	6	4	0	0	131
あつぎしりつびょういん 厚木市立病院	厚木市	0	23	4	0	1	0	0	7	0	0	35
やまととくしゅうかいびょういん 大和徳洲会病院	大和市	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	25
きたざとだいがくびょういん 北里大学病院	相模原市 南区	2	73	12	0	0	7	25	0	0	0	119
さみはらきょうどうびょういん 相模原協同病院	相模原市 緑区	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
けんりつあしがらかみびょういん 県立足柄上病院	足柄上郡 松田町	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

げんご 言語 医療機関名	所 在 地	中 国 語	ス ペ イン 語	ポ ル ト ガ ル 語	韓 国 ・ 朝 鮮 語	タ ガ ロ グ 語	タ イ 語	英 語	ベ ト ナ ム 語	カン ボ ジ ア 語	ラ オ ス 語	合 計
おだわらしりつびょういん 小田原市立病院	小田原市	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
けんりつじゅんかんきこきゅうきびょう 県立循環器呼吸器病センター	横浜市 金沢区	13	8	0	0	0	0	0	0	0	0	21
けんりつ いりょう 県立こども医療センター	横浜市 南区	54	50	15	0	2	0	60	2	9	0	192
けんりつ 県立がんセンター	横浜市 旭区	14	20	0	0	0	0	0	5	0	0	39
けんりつせいしんいりょう 県立精神医療センター (きんこうびょういん・せりがやびょういん 芹香病院・せりがや病院)	横浜市 南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ごう 合 計		766	1163	403	25	45	78	491	93	27	21	3112

しんりょうかべつじっせき
【診療科別実績】



ぎょうむ
イ. コーディネート業務

(ア) かながわ県民センター2階「県民の声・相談室」第2および第3ブースにて11人のコーディネーターが当番制で月～金曜日、9時～12時/13時～16時、コーディネート業務に就いた。

(イ) コーディネーター会議を、2011年4月5日(月)、5月30日(月)、6月21日(火)、7月26日(火)、8月26日(金)、9月22日(木)、10月24日(月)、11月24日(木)、12月21日(水)、2012年1月24日(火)、2月27日(月)、3月27日(月)に開催し、通訳派遣に関する連絡、事例共有、課題検討を行った。また、現任医療通訳・コーディネーター研修への協力を行った。

(ウ) コーディネーターの募集を行い4名の応募があったが、登録には至らなかった。

ウ. 運営協議会の設置・参加

運営委員会を5月25日(水)、2012年3月21日(水)に開催し、部会を5月25日(水)、2012年2月7日(火)に開催した。
前年度事業監査：監査役川崎市 5月24日(火)神奈川県担当者の立会いの下実施した。

エ. 関係機関との連絡調整・調整会議の設置参加

協働事業の相手である神奈川県国際課と、10月20日(木)、2012年1月17日(火)、3月8日(木)に連絡調整会議およびワーキンググループ会議を開催した。

オ. 新規医療機関拡大に向けての訪問

6月9日(木) 病院訪問 横須賀うわまち病院 沢田貴志理事
7月8日(金) 病院訪問 横須賀うわまち病院 早川寛副理事長

<内容2> MIC かながわ医療通訳派遣事業

[日時]2011年4月1日～2012年3月31日 [場所]神奈川県内 [従業員人員] 人
[対象者] <内容1>の事業で対応しない協定医療機関 30病院

ア. 医療通訳スタッフの派遣

県医療通訳派遣システム事業以外の医療機関を対象に、医療通訳受け入れにあたっての説明をした上、覚書を取り交わした後、医療通訳スタッフの派遣を行った。

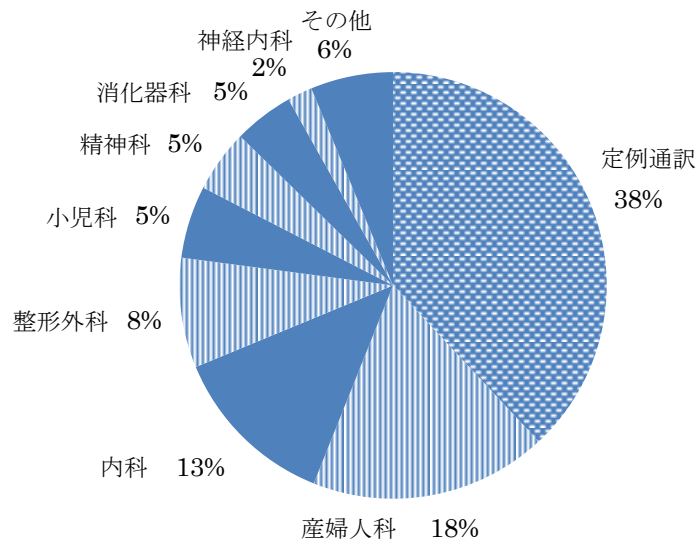
病院・言語別実績

【単位：件】

げんご 言語	所 在 地	中 国 語	ス ペ イン 語	ポ ル ト ガ ル 語	韓 国 ・ 朝 鮮 語	タ ガ ロ グ 語	タ イ 語	英 語	ベ ト ナ ム 語	カン ボ ジ ア 語	ラ オ ス 語	合 計
医療機関名												
国際親善総合病院	横浜市 泉区	46	6	4	0	0	0	0	1	0	0	57
横浜医療センター	横浜市 戸塚区	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	14
昭和大学藤が丘病院	横浜市 青葉区	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
済生会横浜市南部病院	横浜市 港南区	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
横浜南共済病院	横浜市 金沢区	1	106	4	0	0	15	5	0	0	0	131
横浜労災病院	横浜市 港北区	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
港町診療所	横浜市 神奈川区	36	67	5	0	3	0	0	0	0	0	111
横浜市立みなと赤十字病院	横浜市 中区	7	0	0	0	4	1	7	0	0	1	20
江田記念病院	横浜市 青葉区	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
横浜市立脳血管センター	横浜市 磯子区	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5

げんご 言語 医療機関名	所 在 地	中 国 語	ス ペ イン 語	ポ ル ト ガ ル 語	韓 国 ・ 朝 鮮 語	タ ガ ロ グ 語	タ イ 語	英 語	ベ ト ナ ム 語	カ ン ボ ジ ア 語	ラ オ ス 語	合 計
よこはまでいしんびょういん 横浜通信病院	横浜市 神奈川区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひがしとつかきねんびょういん 東戸塚記念病院	横浜市 戸塚区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
とつかきょうりつだいいびょういん 戸塚共立第1病院	横浜市 戸塚区	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
とうかいだいがくおおいそびょういん 東海大学大磯病院	中郡 大磯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みやかわびょういん 宮川病院	川崎市 川崎区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひらつかしみんなびょういん 平塚市民病院	平塚市	0	132	0	0	0	0	0	0	0	0	132
けんりつそうごうりょういくそうだん 県立総合療育相談センター	藤沢市	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
かわさきさいわいびょういん 川崎幸病院	川崎市 幸区	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
とうめいあつぎびょういん 東名厚木病院	厚木市	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
とうめいあつぎ 厚木クリニック	厚木市	0	11	1	0	0	0	2	0	0	0	14
かながわびょういん 神奈川県リハビリテーション病院	厚木市	3	12	4	0	0	0	0	0	0	0	19
いせはらきょうどうびょういん 伊勢原協同病院	伊勢原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
さいせいかいひらつかびょういん 済生会平塚病院	平塚市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
にほんいかにだいがくむさしこすぎびょういん 日本医科大学武蔵小杉病院	川崎市 中原区	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
やまとせいわびょういん 大和成和病院	大和市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ななさわびょういん 七沢リハビリテーション病院	厚木市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ちいほなその 小さき花の園	鎌倉市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そがびょういん 曽我病院	小田原市	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
せい 聖マリアンナ医科大学 とうよこびょういん 東横病院	川崎市 中原区	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	11
よこすか 横須賀うわまち病院	横須賀市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		109	374	23	3	7	16	30	1	0	1	564

しんりょうかべつじっせき
【診療科別実績】



＜内容3＞ 感染症通訳派遣（外国籍県民エイズ通訳等委託事業等）

〔日時〕2011年4月1日～2012年3月31日 〔場所〕神奈川県内 〔従業員人員〕 人

〔対象者〕保健所の感染症担当保健師およびその担当患者等

神奈川県保健福祉部健康増進課からの委託内容にもとづき、感染症に関わる通訳依頼（エイズ・結核等）に対して、感染症に関する研修を修了している医療通訳スタッフを派遣した。
派遣実績 大和保健福祉事務所 2件

なお、県委託事業対応範囲外（横浜・川崎等）からの依頼についても、県委託事業に準じる内容で医療通訳スタッフを派遣した。
派遣実績 横浜市 2件 川崎市 1件 計3件

③ 災害時・緊急時および一般通訳等に関する活動

〔日時〕2011年4月1日～2012年3月31日 〔場所〕神奈川県内 〔従業員人員〕 人

〔対象者〕日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公共機関

【③事業合計支出額】 1,072,120円

＜内容1＞ 一般通訳派遣事業

ア. 「かながわ一般通訳支援事業」を神奈川県国際課から受託。通訳協力者の登録および派遣

コーディネートをを行った。

登録言語数 17言語
登録通訳者数 実人数 149人 （複数言語登録者がいるため延べ196人）
派遣実績 154件
主な派遣先 県立高校・県立養護学校、児童相談所、市役所・区役所等
言語別内訳 ス페인語 48件、タガログ語 27件、ポルトガル語 21件、ベトナム語 21件、中国語 15件、タイ語 10件 他

イ. 一般通訳協力者研修

【第1回】12月9日（金）10:30～12:00 大和市生涯学習センター

テーマ：高校での通訳者と学校の課題—高校教育現場における外国につながる生徒の抱える問題解決に向けて

講師：NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ（ME-net）理事長 高橋徹氏、

ME-net多文化教育コーディネーター 関口真理恵氏

〔参加者数〕24人

【第2回】2012年2月22日（水）15:00～16:30 かながわ県民センター

テーマ：災害時の外国籍住民のニーズと通訳・翻訳活動
 講師：NPO法人多文化共生センター東京 理事・事務局長 田中阿貴氏
 [参加者数] 37人

<内容2> MIC一般通訳派遣事業

外国籍県民あるいはその支援団体が通訳を必要とする場所が、県の一般通訳派遣制度の中では派遣できないところである場合にMICかながわと直接契約を交わし、通訳を派遣した。

契約を交わした件数 1件 通訳を派遣した件数 2件

<内容3> その他、講師派遣・会議参加等

ア. 神奈川県消防学校外国語講座 講師派遣

【第1回】7月11日(月)

派遣者：三木紅虹中国語通訳、城間ラウラスペイン語通訳、アニー・ヒューバート会員(英語)

【第2回】11月28日(月)

派遣者：三木紅虹中国語通訳、城間ラウラスペイン語通訳、アニー・ヒューバート会員(英語)

<内容4> 災害の通訳派遣体制についての検討委員会の設置

コーディネーターブースの災害時体制検討会を立ち上げ、災害時の初動体制、連絡網、指示系統、通訳スタッフの安否確認方法等について検討を重ねた。

④ 日本語を母語としない住民のための健康相談による地域の健康促進活動

[日時]2011年4月1日～2012年3月31日 [場所]神奈川県内 [従業員人員] 人

[対象者] 日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公共機関

【④事業合計支出額】 0円

<内容1> 外国人無料健康相談会

港町診療所、神奈川県等の主催による健康相談会に、広報、通訳派遣等の協力を行った。

日時	会場	会場所在地	受診者数	通訳派遣数
5月15日(日)	カトリック貝塚教会	川崎市川崎区	66人	1人
7月3日(日)	いちようコミュニティハウス	横浜市泉区	61人	3人
9月25日(日)	カトリック大和教会	大和市	49人	1人
11月20日(日)	カトリック藤沢教会	藤沢市	20人	1人
2012年 2月5日(日)	横浜市鶴見福祉保健センター	横浜市鶴見区	82人	11人
3月25日(日)	川崎市立富士見中学校	川崎市川崎区	30人	2人

ないよう た つうやくはけん
<内容2>その他の通訳派遣

みなとまちしんりょうじょ がいこくじんじょせいけんしん
10月29日(土) 港町診療所 外国人女性健診 (ポルトガル語、スペイン語、タイ語各1人)

にほんご ぼご かた がいこくせきじゅうみん いりよう
⑤ 日本語を母語としない方や外国籍住民がスムーズに医療につながることをするための
いりようせいど けんきゅう ていげん じんけん かん けいはつじぎょう
医療制度の研究・提言および人権に関する啓発事業

にちじ [日時] 2011年4月1日～2012年3月31日 [場所] 日本全国 [従業員人員] 人

たいしょうしゃ いりようつうやくはけんせいど いりようつうやく ようせい かんしん ぜんこく ぎょうせいしよくいん いりよう
[対象者] 医療通訳派遣制度および医療通訳の養成に関心のある全国の行政職員・医療
かんけいしゃ つうやく とう
関係者・通訳ボランティア等

じぎょうごうけいししゅつがく
【⑤事業合計支出額】 3,144,877円

ないよう いりようつうやくはけん じぎょう たぶんかきょうせいしゃかいすいしんじぎょう
<内容1> 医療通訳派遣システム事業 多文化共生社会推進事業

いりようつうやく
ア. 医療通訳セミナー

MIC かながわが神奈川県と協働で行っている4日間の医療通訳養成研修を一日にまとめ、
いりようつうやく かんしん ひと たいしょう いりようつうやく かいさい
医療通訳に関心のある人を対象に医療通訳セミナーを開催した。

さんかしゃ きまじゅうちいき とお とつとり あいち ながの みやぎ しゅ かながわけん きんりんとけん
参加者の居住地域は、遠くは鳥取、愛知、長野、宮城、主として神奈川県、近隣都県であつた。
さんかしゃ しよくぎょう ぎょうせい こくさいこうりゅうだんたいかんけいしゃ いりようかんけいしゃ だいがくきょういん つうやく かいしゃいん
また参加者の職業は、行政・国際交流団体関係者、医療関係者、大学教員、通訳、会社員、
しゅふとうたき
主婦等多岐にわたった。

じゅこうひ いっぱん かいいん ちょうしゅう
受講費として、一般 3,000円、MIC かながわ会員 2,500円を徴収した。

にちじ かいじょう かながわけんしゃかいふくしかいかん
日時：2012年3月3日(土) 10:00～16:30 会場：神奈川県社会福祉会館

いりようつうやく いりようつうやく こころがま
i 医療通訳とは・医療通訳の心構え

こうし さわだたかし りじ みなとまちしんりょうじょしよちょう いし
講師：沢田貴志氏 (MIC かながわ理事・港町診療所所長・医師)

がいこくじんいりよう げんじょう にほん いりようせいど
ii 外国人医療の現状・日本の医療制度

こうし はやかわひろし ふくりじちょう みなとまちしんりょうじょじむちょう
講師：早川寛氏 (MIC かながわ副理事長・港町診療所事務長)

たいじんえんじょ たぶんかきょうせい
iii 対人援助スキル・多文化共生

こうし つるたみつこし りじちょう せい びょういん
講師：鶴田光子氏 (MIC かながわ理事長・聖テレジア病院ソーシャルワーカー)

こうし つうやくぎじゅつ
iv ロールプレイ・通訳技術

こうし いわもとやよいし ごいりようつうやく
講師：岩本弥生氏 (MIC かながわポルトガル語医療通訳スタッフ・コーディネーター)

じゅこうしゃ
受講者：53名

ないよう た いりようつうやくけいはつじぎょう
<内容2>その他の医療通訳啓発事業

こうかいこうざ
ア. 公開講座

いりようつうやく ひろ いっぱん かた し こうかいこうざ じっし
医療通訳のノウハウを広く一般の方々に知ってもらうために、公開講座を実施した。

えいごいりょうつうやくこうぎ
(ア) 英語医療通訳講座

講義回数	開催時期	受講者数
基礎講座 昼クラス (全10回)	5月12日～7月14日	9人
基礎講座 夜クラス (全10回)	5月12日～7月14日	5人
中級講座 昼クラス (全10回)	5月17日～7月19日	7人
上級講座 昼クラス (全10回)	9月6日～11月15日	8人
中級講座 昼クラス (全10回)	9月8日～11月17日	7人
中級講座 夜クラス (全10回)	9月8日～11月17日	5人
上級講座 昼クラス (全10回)	1月12日～3月15日	6人
上級講座 夜クラス (全10回)	9月6日～11月22日	6人
基礎講座 昼クラス (全10回)	1月17日～3月27日	9人
基礎講座 夜クラス (全10回)	1月17日～3月27日	8人

5月17日開講予定の英語中級夜クラスは、最少開講人数に達しなかったため開講は見送られた。

ごいりょうつうやくこうぎ
(イ) スペイン語医療通訳講座

講義回数	開催時期	受講者数
中級講座 (全8回)	5月20日～7月15日	6人
上級講座 (全8回)	9月9日～11月4日	5人
基礎講座 (全8回)	1月13日～3月2日	12人

ちゅうごくごいりょうつうやくこうぎ
(ウ) 中国語医療通訳講座

講義回数	開催時期	受講者数
体験講座 土曜クラス (1回)	5月21日	7人
基礎講座 土曜午前クラス (全8回)	6月18日～8月6日	10人
基礎講座 土曜午前クラス (全8回)	1月21日～3月24日	6人
基礎講座 月曜夜間クラス (全8回)	1月23日～3月12日	6人

春開講予定の体験講座月曜クラス、6月13日開講予定の基礎講座月曜クラス、10月22日開講予定の中級講座土曜クラスは最少開講人数に達しなかったため開講は見送られた。

こうしはけんとう
イ. 講師派遣等

(ア) 講師派遣

6月14日(火)	平塚看護学校『外国人医療の現場』	講師派遣：松野勝民副理事長
6月20日(月)	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター『医療現場での通訳』	講師派遣：佐藤ペティ中国語通訳

- 6月22日(水) 母子生活支援施設カサ・デ・サンタマリア職員研修
講師派遣：鶴田光子理事長
- 6月29日(水) 横浜市鶴見国際交流ラウンジ『医療通訳の現場から』
講師派遣：早川寛副理事長、佐藤ペティ中国語通訳
- 7月10日(日) 愛知県国際課多文化共生推進室『患者等の出身国・地域の文化』および『患者等の出身国・地域の医療』
講師派遣：西村明夫PA
- 9月25日(日) ちば国際コンベンションビューロー「国内と海外の医療通訳事情」
講師派遣：西村明夫PA
- 10月4日(火) ちば国際コンベンションビューロー「医療通訳の技術とところがまえ」
講師派遣：三木紅虹中国語通訳
- 10月11日(火) ちば国際コンベンションビューロー「英語による医療通訳の演習」
講師派遣：アビー・ニコラス・フリー英語通訳
- 10月14日(金) ちば国際コンベンションビューロー「中国語による医療通訳の演習」
講師派遣：佐藤ペティ中国語通訳
- 10月17日(月) ちば国際コンベンションビューロー「スペイン語による医療通訳の演習」
講師派遣：城間ラウラスペイン語通訳
- 11月1日(火) 中国帰国者支援交流センター講座
講師派遣：中国語通訳 三木紅虹、王暁雁、佐藤ペティ
- 11月20日(日) 八王子国際協会「医療通訳の心構え・ロールプレイ指導」
講師派遣：アビー・ニコラス・フリー英語通訳
- 12月1日(木) 群馬県国際課「医療通訳養成講座（医療通訳の心得）」
講師派遣：佐藤ペティ中国語通訳
- 12月3日(土) 栃木県国際交流協会「医療通訳ボランティアセミナー」
講師派遣：岩本弥生ポルトガル語通訳
- 12月4日(日) 長野県国際交流推進協会「通訳者養成講座（医療編）」
講師派遣：佐藤ペティ中国語通訳
- 12月8日(木) 群馬県国際課「医療通訳養成講座（通訳技術の基礎）」
講師派遣：森田直美英語通訳
- 12月10日(土) 栃木県国際交流協会「医療通訳ボランティアセミナー」
講師派遣：岩本弥生ポルトガル語通訳
- 12月15日(木) 群馬県国際課「医療通訳養成講座（シミュレーション指導）」
講師派遣：アビー・ニコラス・フリー英語通訳
- ねん
2012年
1月28日(土) 山梨県国際交流協会「医療通訳ボランティアセミナー」
講師派遣：アビー・ニコラス・フリー英語通訳

(イ) その他、役員・事務局職員・通訳等が下記の内容でMIC かながわの活動および医療通訳
に関して講義を行った。

9月20日(火) 東邦大学医学部 「外国人医療と医療通訳」 講師：鶴田光子理事長

⑥ 日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談活動

[日時] 2011年4月1日～2012年3月31日 [場所] 神奈川県内 [従業員人員] 人

[対象者] 外国籍県民、保健所職員・医療機関職員等

【⑥事業合計支出額】 0円

<内容1> MIC かながわ事務局において、医療通訳派遣などから派生する日本語を母語としない住民の生活に密着したさまざまな相談に対応した。

MIC かながわ事務局における相談対応 44件

<内容2> 日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談対応に必要な研修等の広報に協力し、参加した。

ア. 「外国籍県民相談員研修会」(主催：公益財団法人青年海外協力協会)
広報協力および参加

- ・9月29日(木)「外国につながる子どもたちの教育問題について」
- ・11月11日(金)「新たな在留管理制度について」
- ・2月10日(金)「外国籍住民の就労問題について」

イ. 災害時の外国人支援講座(主催：神奈川県県民部国際課) 広報協力および参加

- ・2月4日(土)「防災体験講座」

⑦ 日本語を母語としない住民の定住化に伴う課題への対応についての行政や地域で活動する
団体への連絡、助言または援助の活動

[日時] 2011年4月1日～2012年3月31日 [場所] 神奈川県内 [従業員人員] 人

[対象者] 法人の事業活動に理解のある団体および個人

【⑦事業合計支出額】 160円

ア. 会議・イベント等への参加

(ア) かながわ連絡会議 9月15日(金) 参加：早川寛 副理事長・森田佐知子 事務局長

(イ) 滞日外国人医療ソーシャルワークセミナー(日本女子大学) 10月23日(日)
参加：岩本弥生ポルトガル語通訳、三木紅虹中国語通訳

イ. 取材

- ・雑誌「通訳翻訳ジャーナル」イカロス出版 5月7日(土) 小林正義スペイン語通訳
- ・日本弁護士連合会「医療と人権」 5月7日(土) 早川寛副理事長、岩元陽子英語通訳
- ・雑誌「中国語ジャーナル2月号」アルク 11月18日(金) 佐藤ペティアー中国語通訳、高山喜良事務局スタッフ

ウ. 調査協力・来訪・訪問等

- 5月23日(月) 鶴見国際交流ラウンジ、鶴見区地域振興課、YOKE 来所 4名
- 7月28日(木) 東海大学学生来訪ヒアリング 1名
- 8月22日(月) 明治学院大学学生来訪ヒアリング 2名
- 8月29日(月) 早稲田大学大学院学生来訪ヒアリング 1名
- 10月14日(金) 慶応大学学生来訪ヒアリング 1名
- 11月15日(火) 愛知県犬山市議員視察 8名
- 11月中 岩手県立大学学生メール・電話による調査 1名

エ. 委員等の活動

- ・(財)かながわ国際交流財団かながわ民際協力基金審査委員 鶴田光子理事長
- ・(財)かながわ国際交流財団評議員 松野勝民副理事長

⑧ 日本語を母語としない住民の生活支援につながる翻訳事業

【日時】2011年4月1日～2012年3月31日 【場所】MIC かながわ事務局 【従業員人員】 人
 【対象者】法人の事業活動に理解のある団体および個人

【⑧事業合計支出額】 166,310 円

2011年度も2010年度に引き続き新規の翻訳依頼は原則受付せず、業務を縮小して実施した。
 関係医療機関等からの依頼にもとづき、理事会の検討を経て翻訳を行った。

- ・MF-MASH MF-MASH ニュース(英語・スペイン語)
- ・神奈川県 外国籍県民のための保健医療ガイド(英語)
- ・その他、協定医療機関からの依頼(通訳派遣活動において必要と思われる内容)に対応

⑨ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【日時】2011年4月1日～2012年3月31日 【場所】MIC かながわ事務局および県外
 【従業員人員】 人 【対象者】法人の事業活動に関心のある団体および個人

【⑨事業合計支出額】 27,487 円

＜内容1＞ 活動の目的に沿った事業

ア. 広報

- (ア) ニュースレター 会員等に郵送やEメールでニュースレターを年間4回発行。
- (イ) 有志による活動 MIC かながわのロゴマーク起用のTシャツを作成、頒布した。
- (ウ) twitter や facebook を活用し、広報の拡大に努めた。
- (エ) MIC かながわの広報戦略を検討すべく、12月22日(木)MIC かながわ事務所にて、広報会議を開催し、キャッチフレーズ案を決め、理事会で承認された。
参加者10名(理事6名、事務局4名)。

キャッチフレーズ「ことばで支える いのちとくらし」

- (オ) MIC かながわのパンフレットを作成(印刷会社へ発注)2000部。
- (カ) 国際モダンホスピタルショー 於：東京ビッグサイト 7月13日(水)～15日(金)
毎年全国の医療関係者に向けて開かれる展示会で、2011年は「わかりやすい医療」がサブテーマ。MIC かながわは国立国語研究所の隣のブースで、活動を示すパネルを展示し、その前で多言語クイズなどで「医療通訳」をアピールした。
参加：医療通訳スタッフ(田中圭、小野悦子、矢島行子、西垣幸代、佐藤ペティ、草間久美、蒲谷瑞枝、五十嵐しづえ、小川みゆき)、事務局(高山喜良、内藤まゆみ)

- (キ) よこはま国際フォーラム 於：JICA横浜 2012年2月12日(日)
国際協力・国際交流に関わるNGO・NPOがセミナーやワークショップで参加するイベントで、MIC かながわも2コマのセミナーを行った。

Part I テーマ：医療通訳は他の通訳とどこが違うの？
岩本弥生氏(MIC かながわポルトガル語医療通訳スタッフ・コーディネーター)

テーマ：医療通訳体験談

問屋正勝氏(MIC かながわスペイン語医療通訳スタッフ)

Part II テーマ：どうして医療通訳は必要なの？
鶴田光子氏(MIC かながわ理事長・聖テレジア病院ソーシャルワーカー)

テーマ：医療通訳体験談

李思薇氏(MIC かながわ中国語医療通訳スタッフ)

イ. その他

(ア) ピカピカ文具セットプロジェクト

中国語通訳スタッフ佐藤ペティさんと英語通訳スタッフ田中圭さんが中心となり、MIC かながわ会員および通訳スタッフに未使用文房具の寄付を呼びかけ、東日本大震災被災地の子どもたちへの支援プロジェクト(認定NPO法人パレスチナこどものキャンペーン「東北子ども支援」)に参加した。

7人のボランティアによる袋詰め作業の結果、文房具 155袋(ダンボール箱数8個)

と現金げんきんでの寄付きふを上記じょうきプロジェクトおくに送った。

(2) **その他の事業**た じぎょう

なし